



ふみきりの安全対策を



2013年8月、死亡事故が起きた生見尾踏切 (生麦駅横)

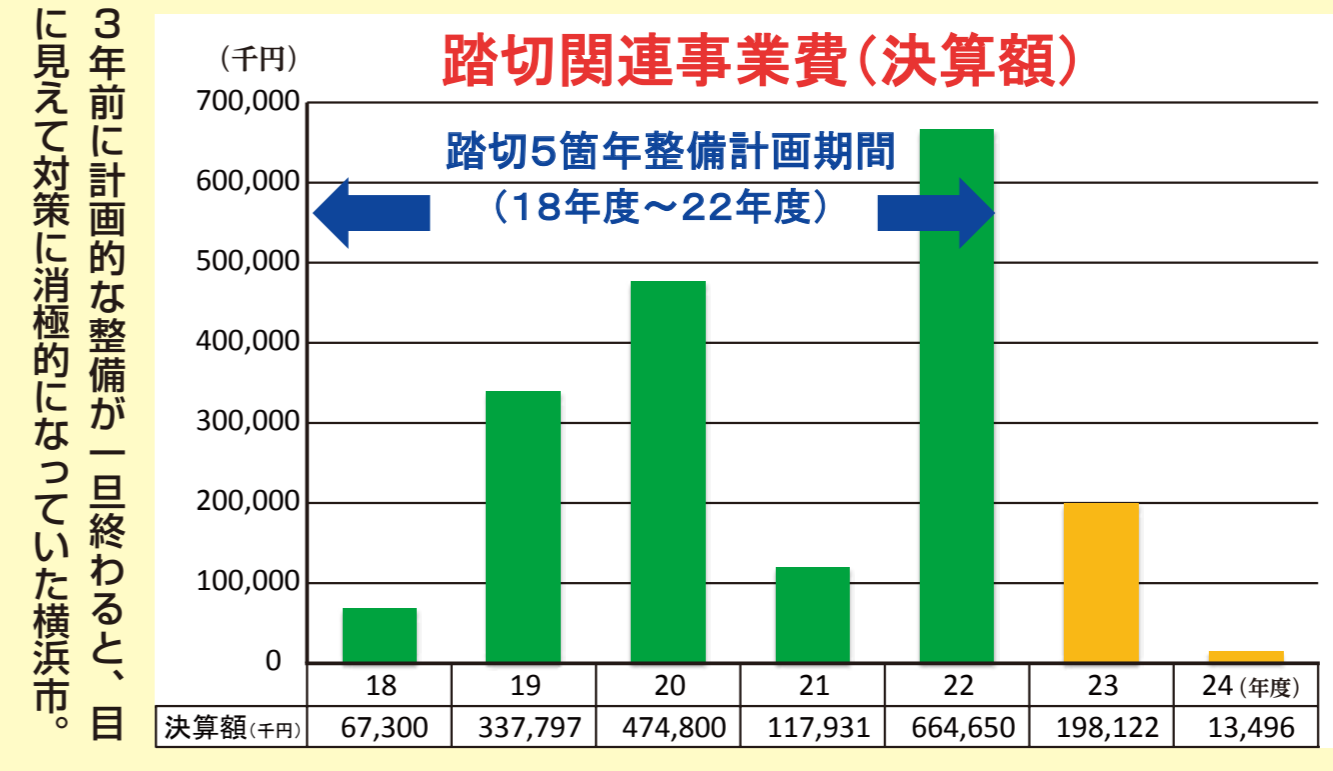
市内の踏切で痛ましい事故が相次ぎました。鶴見区の生麦駅横では長い踏切を渡りきれなかった高齢者が、緑区では倒れた男性を助けようとした女性が電車にはねられ、お二人とも命を落とされました。

井上さくらは、この事故直後の議会で林市長に踏切の安全対策を急ぐよう求め、生麦駅ではエレベーター付きの歩道橋を新設する事が決まりました。



事故があったのと同程度の長い踏切は市内に17ヶ所。その半数以上が鶴見に集中しています。対策を急がなければなりません。

横浜市の踏切対策、後退していた！



費用弁償 復活で議員だけ「手取りアップ」?!

井上さくらは市民に還元します。

アベノミクスで景気回復?と言われながら給料増はままならず、4月からは消費税アップで生活がますます大変。そんな時に、市議会議員だけ手取りアップするような条例が可決されてしまいました。

6年前に財政難などを理由に廃止した「費用弁償」を復活させ、議員が1回議会へ出席する度に3,000円から1,000円を、給料とは別に支給する事になったのです。

実費を上回るどんぶり勘定での支給。議員によっては年間30万円も手取りが増える計算になります。

貴重な税金を議員の給料割増しに使うような事をすべきではないと反対しましたが、自民・公明・民主の賛成多数で可決されてしまいました。

条例制定されてしまった以上、市への返還は公職選挙法上できないため、井上さくらは個人のポケットに入らずにプールして「見える化」し、市民に役立つ事業をすることで還元します。



ブラック企業を許さない!!

「過労死ライン」オーバーの職場が横浜市内に118ヶ所も

低賃金・長時間勤務、サービス残業やセクハラ、パワハラ...ひどい労働環境で若者を使いつぶす「ブラック企業」が増えていきます。

これまで国任せだったこの問題に市としても取り組むよう市長に求めた質問の中で、横浜市内にも、過労死しておかしくないと言われる時間外労働が月80

時間を超えていた事業所が118カ所もあった事が判明しました。(24年度、労働基準監督署調査)

横浜市は労働相談を東電の子会社である人材派遣会社に丸投げしていますが、これでは実情把握もできないため早急に改善すること、また介護や保育等市が関わる現場の環境改善を行うよう求めています。

子宮頸がんワクチン 被害調査を急ぐ!!

ガンを予防できる、として鳴り物入りで登場した「子宮頸がんワクチン」。2011年から無料化し、全国で300万人以上の女性が受けました。

ところが今年6月、国は「積極的勧奨を控える」と決めたのです。理由は全国で続発する重い副作用。頭痛、筋肉痛、腫れや発熱、けいれん、全身の激痛や失神といった被害報告が相次いでいます。

ワクチンを製造した製薬会社自身が4%の割合で重い副作用が出る事を認めており、まだ多くの被害者が埋もれている可能性が高いのです。

新たな薬素をこれ以上上げないため接種中止とこれまで受けた方の健康調査を急ぐよう求めています。皆様も気になる事がありましたらすぐご連絡下さい。

悩んでいるより **まず相談**

☎045-571-6950
sakuraline@me.com